



東 侯 野 3月号

東侯野小学校 学校だより

平成31年3月1日

新たな学校教育目標

校長 村田 幹男

日の出も早くなり、春の訪れを感じる頃になりました。暦も3月、30年度最後の月となりました。子どもたちは、一年間の学校生活のまとめをする時期であり、6年生にとっては、小学校生活を締めくくり、巣立ちを迎えます。残された一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

さて、東京オリンピックが開催される2020年度は、新指導要領による教育課程が完全実施となる年度でもあります。学習指導要領とは国が定める教育課程の基準をまとめたもので、これを指針として各学校は授業を行い、また、教科書の編纂や時間割なども決められていきます。学校教育においてとても重要であるこの学習指導要領は約10年ごとに改訂が行われています。

新指導要領は、「社会に開かれた教育課程」を理念としています。情報化やグローバル化といった社会的変化が予測を超えて進展するようになってきており、今の子どもたちが大人になる頃には、どのような社会になるか予測も難しいですが、そのような中でも、主体的に向き合い、広い視野を持って、自分の人生を切り拓いていけるような力を身に付けていくことを重視し、今回の改訂は行われています。またそれらを実現させるために必要とされる資質や能力を育み、学校教育を学校内に閉じずに、社会と共有・連携しながら実現させることを目指します。

本校は、この機に、学校教育目標を再考することにしました。11月に保護者の皆さんにアンケートにご協力いただいたのは、教職員の思い・願いとともに、保護者・地域の思い・願いも知りたかったからです。1月に教職員全体で話し合い、次のような教育目標ができました。次年度からの新たな学校教育目標として設定します。

豊かなかかわりの中で ともに輝く ひがまたっ子

ひ	拓く子	自ら問題を発見し、主体的に考え、よりよく解決する子 (知)
が	感謝する子	自他を大切にし、互いのよさを認める子 (徳)
ま	まっすぐ素直な子	心身ともにたくましく生きる子 (体)
たっ	高め合う子	夢や希望をもち、他者と協働し、高め合う子 (公)
こ	行動する子	自分の思いをもち、自ら進んで行動する子 (開)

今年度もあとわずかですが、無事卒業式、修了式を迎えられることを願っています。これまでの皆様のご理解・ご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。